

防災拠点にならない 不便・非効率



職員の8割が「咲洲庁舎撤退」

咲洲庁舎から撤退し、大手前西館跡地に集合庁舎建設を

府庁本館（大手前）の改修工事が終わり、西館の撤去工事が始まりました。西館と周辺の跡地利用については、この間もいろいろな意見も出され、マスコミでも報道されています。府職労は、一貫してWTCビルの購入・庁舎移転に反対し、現在も府民・職員にとっても不便・非効率で、防災拠点にならない咲洲庁舎からの撤退を求めています。

9月12日と14日、本庁（大手前・咲洲）職員を対象に緊急アンケートを実施しました。集計結果は次のとおりです。

「府庁（大手前）西館とその周辺の跡地利用について」の質問では、回答者の83%が「新庁舎を建設し、咲洲庁舎から撤退する」と答えています。8割を超える職員が咲洲庁舎からの撤退・大手前集約を望んでいます（グラフ①）。

日常的な大手前・咲洲間の移動頻度については、年間10回以上移動している職員が約3割となり、多い人では月平均10〜20回の人もいました（グラフ②）。

また、大手前・咲洲の両庁舎で勤務した職員を対象にした質問では、通勤時間が30分以上長くなった職員が半数を超えています（タ

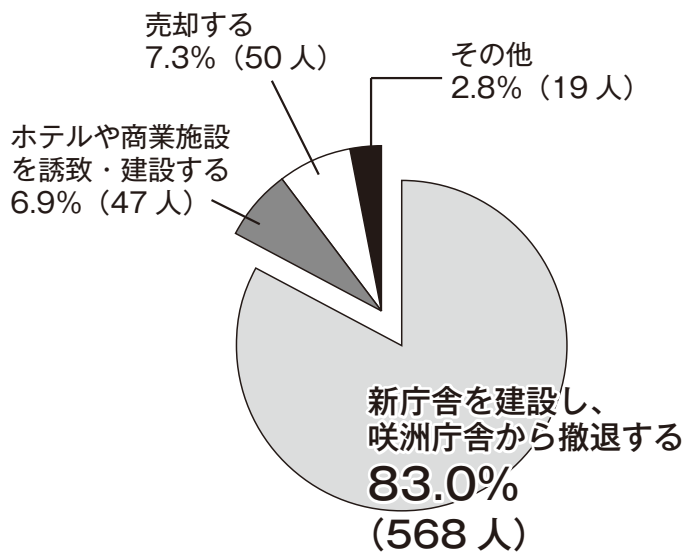
グラフ③）。また、通勤手当（6ヶ月定期）では、1万円以上高くなった人が6割を超え、17・7%が3万円以上高くなったと答えています（グラフ④）。

アンケート結果では、庁舎間移動や通勤時間、通勤手当の面からも、いかに非効率であるかが明らかになりました。府職労は引き続き、咲洲庁舎からの撤退・大手前への集約を求め、府民のみならずとも共同して取り組みを進めます。

アンケートにご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

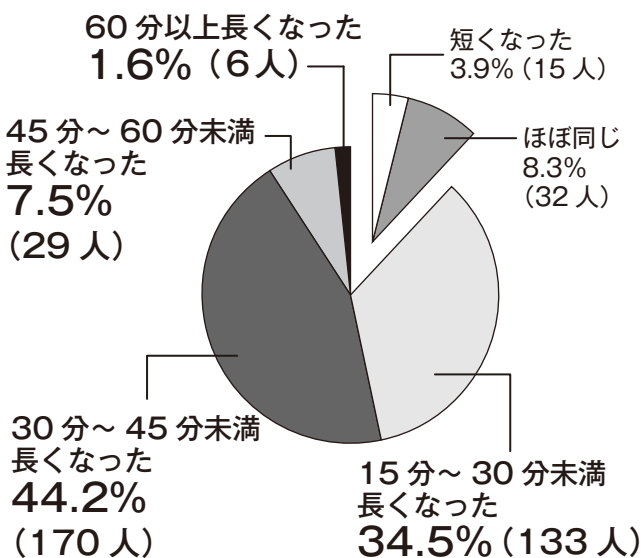
グラフ①

府庁（西館）とその周辺の跡地利用について、どうすべきと思いますか？



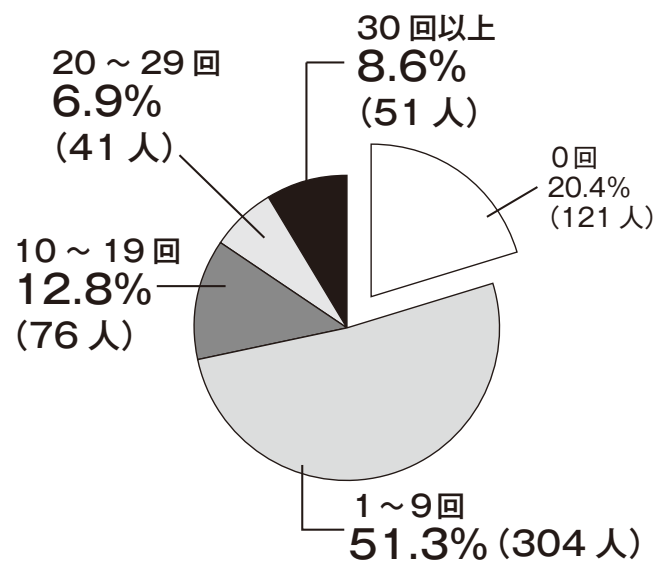
グラフ③

咲洲庁舎への通勤時間は、大手前庁舎への通勤に比べて、どうですか？



グラフ②

日常的に大手前・咲洲間の移動はどの程度ありますか？（年間）



グラフ④

咲洲庁舎のための通勤手当（6ヶ月定期券での計算）は、大手前庁舎への通勤に比べて、どうですか？

